

# 令和元年度全国学力・学習状況調査における 岡崎市児童生徒の結果について

岡崎市教育委員会

## 1 調査分析概要（全国の平均正答率と比較して）

### （1）全体の様子

小学校においては、国語の「話すこと」「読むこと」が「できている」状況である。算数の「数と計算」「図形」「数量関係」は「よくできている」、「量と測定」については「たいへんよくできている」状況である。

中学校においては、国語の「書くこと」が「できている」、「読むこと」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」については「たいへんよくできている」状況である。また、数学についてはどの項目も「たいへんよくできている」状況である。英語は「聞くこと」が「できている」「読むこと」「書くこと」が「たいへんよくできている」状況である。

### （2）小中学校別各教科に関する問題の様子

#### 《小学校6年生》

科	調査結果から捉えられる傾向
国語	<p><u>できている</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・話し手の意図を捉えながら聞き、自分の考えをまとめる力がたいへん優れている。</li> <li>・目的に応じて本や文章全体を概観して効果的に読む力が優れている。</li> <li>・学年別配当漢字表に示されている漢字を文の中で使う力が弱い。</li> <li>・目的に応じて、質問を工夫する力が弱い。</li> <li>・話す・聞く能力が高いが、言語についての知識・理解・技能が十分身につけていない児童が多い。</li> </ul>
算数	<p><u>よくできている</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・示された式の意味を理解する力がたいへん優れている。</li> <li>・場面の状況から、単位量当たりの大きさを基に、求め方と答えを記述し、その結果から判断する力がたいへん優れている。</li> <li>・加法と乗法の混合した整数と小数の計算を正確にする力が弱い。</li> <li>・数学的な考え方が身につけており、特に数量や図形についてよく理解している。</li> <li>・数量や図形の問題を解く技能は概ね身につけているが、計算の順序などの技能が身につけていない部分がある。</li> </ul>
学習状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「ものごとを最後までやりとげてうれしかったことがある」と思う児童は、「そう思わない」児童に比べ、正答率が高い。一生懸命取り組んだ達成感や充実感を味わったことがある児童が、高い正答率を得ている。</li> <li>・「人が困っているときは、進んで助けている」児童は、正答率が高い。「いじめはどんな理由があってもいけない」と思う児童は「そう思わない」児童に比べ、高い正答率を得ている。相手の気持ちを想像し、思いやって行動しようとする気持ちのある児童が、高い正答率を得ている。</li> <li>・読書については、時間が長いほど正答率が高いというわけではない。家庭学習の時間についても同様の結果が見られる。時間の長さではなく、主体的、効率的に取り組むことが効果を高められていると考えられる。</li> </ul>
生活状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家の人（兄弟姉妹を除く）と学校での出来事について話す児童の割合は、全国平均を上回っている。</li> <li>・地域や社会に関わる活動に参加している児童の割合は、全国平均を上回っている。</li> </ul>

《中学校3年生》

科	調査結果から捉えられる傾向
国語	<p><u>たいへんよくできている</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>文章の展開に即して情報を整理し、内容を捉える力が優れている。</li> <li>語の一部を省いた表現について、話や文章の中での適切な活用の仕方を理解する力が優れている。</li> <li>話し合いの話題や方向を捉える力がやや弱い。</li> <li>書かれている内容を正確に読む力はたいへん高いが、自分の考えを書く活用の問題に対してはやや力が弱い。</li> </ul>
数学	<p><u>たいへんよくできている</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>数の集合と四則計算の可能性についての理解度が高い。</li> <li>反比例の表から、<math>x, y</math> の関係を式で表す力が優れている。</li> <li>資料の傾向を的確に捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明する力が弱い。</li> <li>数学的な見方や考え方が身につけており、技能も高い。考えを記述して説明する力にやや弱さがある。</li> </ul>
英語	<p><u>よくできている</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>日常的な話題について、簡単な語句や文で書かれたものの内容を、正確に読み取る力が優れている。</li> <li>与えられた情報に基づいて、3人称単数現在時制の肯定文や否定文を正確に書く力が優れている。</li> <li>日常的な話題について、情報を正確に聞き取る力がやや弱い。</li> <li>書かれていることを正確に読み取る力が優れている。情報を正確に聞き取ったり、外国語で表現したりする力がやや弱い。</li> </ul>
話すこと	<p><u>たいへんよくできている</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>聞いて把握した内容を踏まえて、会話が続いていくように質問するなど、即興的にやり取りする力が優れている。また、与えられたテーマについて考えを整理し、まとまりのある内容を話す力がたいへん優れている。</li> <li>適切に強勢を置き、基本的な表現を理解して応答する力がやや弱い。</li> </ul>
学習状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>「朝食を毎日食べる」「起床時刻が決まっている」「就寝時刻が決まっている」など、規則正しい生活を送る生徒の方が、高い正答率を得ている。</li> <li>「新聞を読んでいる」生徒は、「読んでいない」生徒に比べ、正答率が高い。また、「読書が好き」な生徒は、「読書が好きではない」生徒に比べ、正答率が高い。様々な事象に興味をもち、情報を得ることに楽しさを感じる生徒の方が、高い正答率を得ている。</li> <li>「家で自分で計画を立てて勉強をしている」「授業で学んだことを、他の学習に生かしている」生徒ほど、正答率が高い。自分に必要なことを考え、主体的に取り組める生徒が高い正答率を得ている。</li> </ul>
生活状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>「人の役に立つ人間になりたい」「自分にはよいところがある」と考える生徒の割合は、全国平均を上回っており、自己肯定感の高い生徒が多い。</li> <li>「家の人と学校での出来事について話をする」生徒の割合は、全国平均を上回っている。</li> </ul>

## 2 岡崎市教育委員会の指導改善等の取組

- (1) 国語、算数・数学、英語における岡崎市の児童生徒の学力と、学習環境と学力との相関関係を詳細に分析し、学校での授業や家庭での生活習慣等の改善すべき内容を把握します。
- (2) (1)の分析結果を受け、その授業改善案等を教育委員会が各学校へ伝え、必要に応じて担当指導主事が学校訪問を行い、改善状況を確認したり、指導したりします。
- (3) 各学校で行っている「教育診断アンケート(学校評価)」を利用して、学校や教員が自己評価を行い、日々の授業の成果と課題を明らかにし、新たな授業改善の具体的な対策を立て、取り組むよう指示します。
- (4) 教育委員会と学校は、家庭や地域と連携しながら、子供たちの生活習慣や学習環境が学力に反映することを周知し、改善を図る取組を行い、総合的な学力の向上に努めていきます。

## 3 留意点

- (1) この調査は、子供たちの学習状況の改善を図るために参考とするものです。
- (2) この調査で測定した学力や学習状況は、特定の一部です。
- (3) 学校では、成果と課題を把握し、授業改善に努めます。
- (4) 家庭では、得意なこと・不得意なことを知り、また生活習慣の充実を図るなど、児童生徒が学習に意欲をもって取り組める励ましや環境づくりをお願いします。